

光塩生の皆さん、そして保護者の皆様

2020年度の新学期始動から約2週間が経過し、本来なら先週末には、「FUSION」をテーマとする光塩祭が賑やかに開催され、青春を謳歌する皆さんの御姿に、校内がエネルギーに溢れた輝きの時を迎えるはずでした。しかし、新型コロナウイルス感染症パンデミックによる休校措置・緊急事態宣言に伴う外出自粛要請で、世の中は、今なお、予断を許さない状況が続いています。

光塩生の皆さん、保護者の皆様、御障りなく、お過ごしでいらっしゃいますか。

休校措置に入り、教科書・書類・課題の郵送に続き、先週からGoogleドライブを使っての課題配信を行い、今週初めには、課題進捗状況を伺うモバイルメール、水曜日には、課題第2弾を配信致しました。

皆さん、各教科から出された課題に、気持ちが重くなっていませんか。

授業担当者との顔合わせもなく、授業でのガイダンスもプリントやネット配信だけで、科目毎の教材の整理に苦勞なさっている方もいらっしゃるのではないかと、案じています。

もしかしら、1週間分の課題を出した教科と、3週間分の課題を1度に出した教科とがあり、混乱なされた方もあったかもしれません。

まず、情報の整理が大切です。いつまでに、何を仕上げる必要があるのか、時間割も参考に、そして、何よりも、自分の体調を大切に優先順位を考えて、課題に取り組んでください。第2回目の課題配信後も、焦らず、自分のペースを守り、心地よく、小気味良い学びの日々でありますよう願っています。

そして、何か困ったことや、心配なことがあれば、学年担任の先生に早めに連絡・相談してください。担任の先生方も、皆さんのことを、とても気に掛けています。

さて、皆さん、休校中、「ホスピタリティ(歓待)」を心に留めていますか。「ホスピタリティ」は、学校の中だけのテーマではありません！

お家で目覚めた時に、眠くても朝の挨拶「おはようございます。」を声に出して！

更に、お食事の準備や片付けや洗濯等の家事を家族の一員として担っていますか。保護者の皆様も、在宅勤務になられる等、たくさんの気苦勞を抱えていらっしゃるはずで。皆さんの優しさが頼りです。

加えて、普段は時間的にもなかなかできない御家族との対話も心の健康を保つかけがえのない機会として、大事にしてください。

休校期間、お友達や先生とも会えず、外出もままならず、様々な思いを発散できず、しんどい日々を過ごしていらっしゃるかと存じます。特に、新中1の皆さんが、光塩女子学院中等科に入学なされたことを、少しでも実感して戴けていると良いのですが……。

光塩で学んでいるのだ！と体感度をアップさせるために、今回は、学校再開までの期間に軸とすべき心のあり方を一緒に模索してみましょう。

例えば、課題に取り組む時、「課題を学校の宿題＝義務」として捉えるのではなく、主体的な学びのチャンスと考えてみるのはいかがでしょうか。義務感から解放され、自分から楽しく学んでいる姿勢になって、気持ちが切り替わるだけでも、「やらされている」という圧迫感から、自ら学ぼうとしている！というスタンスに変わるはずで。今こそ、自分の学びのスタイルを発見し、自己発見・学びのパラダイムチェンジ(大転換)の好機にしてください。

もう一つ、自ら、問題点や考えるためのテーマ・課題を見出すチャンスに繋げる機会にすることも提案したいです。

今回の新型コロナウイルス感染症に関連して、自分で問題点を見つけ、調べ、考えるというプロセスを辿ることは、自信にも繋がると思います。

例えば、

- ・イタリアにおいて、北部で初めに感染拡大が起きた理由(地理分野)
- ・人畜共通感染症の実態(医療分野・環境問題・ライフスタイル)
- ・100年前のスペイン風邪をはじめとする感染症の発生と世界の動向・変遷(歴史分野)

- ・人間もウイルスも自然界に生きるものであるという観点から、共生に就いての考察(生物多様性)
- ・「すべてのいのちを守るため」に私たちにできることの再確認(自身の生き方)等、

課題を自ら設定して、主体的な取り組みにチャレンジなさってみてください。たとえ課題解決に至らなくても、課題を自分で見つける眼力を養い、とことん考え抜く姿勢の涵養(かんよう)が、将来の飛躍に結びつきます。

昨秋来日された教皇フランシスコも、「青年との集い」において、「正しい質問ができるだろうか。人生について、自分自身について、他者について、神について、途切れることなくそうした問いへと導く心があるだろうか」とおっしゃり、「知恵を培うための鍵は、正しい答えを得ることよりも、正しい問いを見いだすことにある」と喝破されています。(『すべてのいのちを守るため 教皇フランシスコ訪日講話集』カトリック中央協議会刊 63 ページ所収)

皆さんの「課題発見・思考プロセス」の体験を伺えることを心待ちにしています。

更に、課題を発見し、自らの道を拓くためのヒントとして、2018年にノーベル生理学医学賞を受賞された本庶佑先生の御著書(『がん免疫療法とは何か』岩波新書)の「はじめに」に掲げられた「ひとりの研究者として自立していくために」大切な「六つのC」を紹介します。

- ・好奇心 Curiosity
- ・挑戦 Challenge
- ・勇気 Courage
- ・自信 Confidence
- ・集中 Concentration
- ・継続 Continuation

本庶先生の示してくださった6つのキーワードのうち、1つでも2つでも心に留めて、自らを鼓舞して楽しい学びを続けてください。

そして、学びの合間には、身体を動かし、血流を良くして凝りをほぐしたり、しっかり呼吸をし、頭に酸素を供給することで眠気を撃退したりして、体調維持・体力増強に努めましょう。

換気・手洗い・うがいも忘れずに！

外出自粛にも、引き続き尽力を！

(すべてのいのちを守るためです。)

保護者の皆様、御嬢様の御見守りに、心より感謝申し上げます。

御嬢様方、御家族の皆様の御健康をお祈り申し上げます……。